

今週の話題：

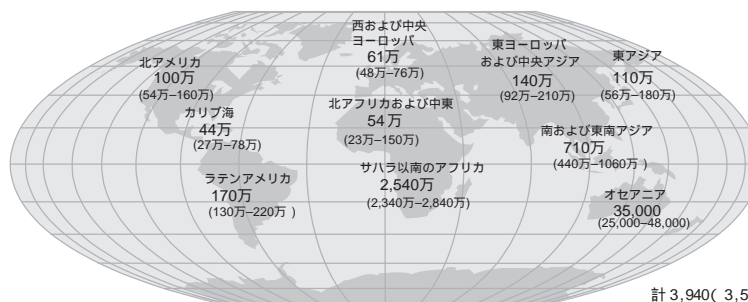
< コレラ、ナイジェリア >

2004年12月3日、WHOはナイジェリア保健省から全1,616例のコレラ症例および126例の死亡例の報告を受けた。Kano州では、2004年10月15日から11月23日の間に全1,316症例および76例の死亡例(死亡率5.8%)の報告があった。またEdo州では、2004年9月16日から11月18日の間に全300症例および50例の死亡例の報告があった。両州の研究機関はこの原因をコレラ菌であると確認した。WHOは監視活動と抗血清の供給で保健省を援助し、国境無き医師団もまたEdo州において制圧活動を支援している。その結果、両州において患者は次第に減少している。

< HIV/AIDSの世界的流行状況、2004年末 >

WHOと国連HIV/AIDS計画(UNAIDS)は2004年末にHIV/AIDS患者(People Living with HIV/AIDS、PLWHA)は3,940万人になると推定し(地図1)これは世界中の15-49歳の人々の約1%に相当する。HIV有病率は1990年から段階的に増加してきているが、1990年代後半からは増加のスピードは落ちてきている(図1)。図1：世界のAIDS流行、1900-2003年(WER参照)

地図1：成人および子供のHIV/AIDS患者の推定数、2004年末(WER参照)



2004年、約500万人がHIVに感染し、うち70万人は15歳以下であった。HIV感染は男女間で不均等な分布をし、大きな地域格差がある。HIV/AIDS流行により2004年には約300万人が亡くなった。ほとんどの感染が低所得国で発生している。HIV/AIDSは、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国においては第1の、世界においては第4の死因である。流行の性質や、発展途上国では抗レトロウイルス療法(ART)の普及率が低いことを考慮すると、死亡率は過去五年間で増加傾向にある(図2)。図2：世界のAIDSによる死亡の推定数、1999-2003年(WER参照)

* 地域的傾向：

- ・サハラ砂漠以南のアフリカ：これまで最も被害を受けた地域であり、2004年末に2,540万人がPLWHAとなった。流行は全体的に安定しているように見え、地域全体のHIV有病率は約7.5%である。成人のHIV有病率は近年安定しているが、安定というのは必ずしも流行が次第に減少していくという意味ではなく、HIV/AIDSで死亡する人数と新たに発症する人数が平衡状態にあるにすぎない。HIVはサハラ以南のアフリカ諸国で地方病になりつつある。これら9ヶ国でHIV患者が推定1,140万人おり、世界の2%の人が住んでいるにすぎない地域に世界の約30%のPLWHAが住んでいることになる。
- ・西アフリカ：ほとんどの西アフリカ諸国においてHIV/AIDSは安定状態にあるように見える。112ヶ所の妊産婦健診クリニックにおける女性のHIV有病率の中央値は、1997年と2002年で変化はなく3-4%であった。全体として、有病率が最も低いのはSahel(サヘル、サハラ砂漠南縁にある地域)諸国で、最も高いのはコートジボアールとナイジェリアである。ナイジェリアは南アフリカ・インドに次いでPLWHAが世界で三番目に多い国である。西アフリカにおいてHIVの感染は主として売春によるものが多く、一般的に成人の間では感染率が低いとされている国ですら若い売春婦の間では高い確率で感染している。
- ・中央アフリカ：カメルーン、中央アフリカ共和国はHIV患者が最も多い国であるが、ここもまた妊婦におけるHIV有病率が安定しているように思われる。
- ・東アフリカ：HIV感染は減少の徴候を示している。特に、ウガンダでは1990年代初めにはHIV有病率が13%であったものが2003年末には4.1%に減少した。妊産婦健診クリニックでの推移を見ると、1997-1998年の有病率は12.9%であったのが2002年には8.5%まで減少した。ケニアも同様の推移を取っており、2003年も減少していくであろう。またブルンジとルワンダではHIVの流行が落ち着いてきているようだが、これは乏しいデータに基づいた判断である。エチオピアにおける流行は首都アジスアベバを含む都市部で最も深刻である。しかし、首都の妊婦間のHIVが減少し続けているのは希望が持てるが、これらの国々における流行が減少しているという宣言をするには早すぎるので、これからも治療、ケア、支援の必要性は増して行くだろう。図3：同じ妊産婦健診クリニックにおけるデータによるHIV有病率中央値の傾向、アフリカ諸国地域別、図4：15-49歳の男女のHIV有病率、都市と地方、選ばれたサハラ以南の

アフリカ諸国（WER 参照）

- ・アジア：アジアは他の大陸、特にアフリカと比較すると HIV 感染率は低い、人口が非常に多いため有病率は低くても HIV/AIDS 患者数は多い。最新の推定情報では、2004 年末までに 820 万人が HIV/AIDS に感染し、うち 230 万人が成人女性で、新たに感染した人は 120 万人である。2004 年に HIV/AIDS により約 54 万人が命を落とした。15-24 歳の若者のうち、女性の 0.3% と男性の 0.4% が 2004 年末までに感染したことになる。アジアでは、HIV は決して爆発的な流行しているわけではないが、国や地域により事情は異なっている。中国では売血、麻薬、売春などが原因で HIV が広がっている。またインドでは薬物静注による蔓延が続いており、より多くの人の間で HIV が広がっている。
- ・ラテンアメリカとカリブ諸国：ラテンアメリカでは 170 万人以上の感染者がいる。約 9 万 5 千人が 2004 年に死亡しているし、24 万人が新たに感染した。15-24 歳の若者の推定感染率は女性が 0.5%、男性が 0.8% であった。カリブ諸国では、44 万人以上 HIV に感染しており、そのうち 5 万 3 千人が 2004 年に感染した。また推定 3 万 6 千人が同年に HIV/AIDS で亡くなった。15-24 歳の若者のうち、女性の推定 3.1% と男性の推定 1.7% が 2004 年末までに感染した。
カリブ諸国での成人の HIV 有病率は 2.3% で、世界で二番目の感染地域である。この地域では HIV は主として性交渉によるもので、男性間および女性の売春婦の無防備な性交渉がその原因である。
- ・東ヨーロッパと中央アジア：2 年前と較べて PLWHA の数が極端に増え、東アジア、東ヨーロッパ、中央アジアにおいては激増している。東アジアの PLWHA の数は 2002 年と 2004 年の間に約 50% 増加し、東ヨーロッパと中央アジアでは 40% 以上増加した。東ヨーロッパと中央アジアでは、たった 2、3 年で PLWHA の数が劇的に増加し、2004 年末までにおよそ 140 万人に達しようとしている。ここ 10 年間で 9 倍以上に増えたことになる。この地域では多様な HIV の流行が進行中である。ウクライナが最も深刻であるが、ロシア連邦が地域全体の最も大きな流行の中心地となっている。ロシア連邦では HIV は不均等に分布しており、国の 89 地域のうちたった 10 地域に HIV 感染者の 60% がいると報告されている。今後、この巨大な国で感染が広がることが懸念されている。
- ・北アフリカと中東：HIV は引き続きその脅威を増しているという懸念が最新の調査で明らかになった。その調査では、2004 年に 9 万 2 千人が HIV に感染し、患者の総数は 54 万人となった。HIV/AIDS により 2004 年に 2 万 8 千人が死亡した。15-24 歳の若者では女性の 0.3% と男性の 0.1% が 2004 年末までに HIV/AIDS に感染した。この地域において、HIV はさまざまなルートで伝播される。売春、男性の同性愛、薬物乱用による注射針の使用などがその原因であり、将来の流行の拡大という重大な見通しが存在する。スーダンが内戦や人道危機のためこの地域で最も感染率が高く、2003 年末に 2% 以上の成人が HIV/AIDS に感染している。
- ・先進国：約 6 万 4 千人の新たな感染が 2004 年に北アメリカと西および中央ヨーロッパで発生し、PLWHA の数は 110-220 万人に増加した。15-24 歳の若者では、女性の 0.1% と男性の 0.2% が 2004 年末までに HIV/AIDS に感染した。延命効果のある ART の広範な普及で 2004 年の死亡数は 1.5-3.2 万人に押さえられた。男性同士の無防備な性交渉、また麻薬注射がこの地域での流行の主な原因であるが、HIV の伝播経路は変化している。新しい一群の人々が感染し、無防備な異性間の性交を通じて感染する人々の割合が増加してきている。アメリカ合衆国では、流行は過去 10 年間で変化してきており、毎年、推定 4 万人が HIV/AIDS に感染した。12 の西ヨーロッパ諸国において、異性間の性交渉を通しての HIV 感染者は 1997-2002 年の間に 122% 増加した。

* 結論：PLWHA の数は各地域で 2 年前と較べ増加してきている。最も極端に増加している地域は東アジア、東ヨーロッパ、中央アジアであるが、サハラ以南のアフリカ諸国が最も激しい感染地域である。

< WHO 事前審査通過リストに復活する 2 種類の AIDS 治療薬 >

2004 年 11 月 30 日、WHO は事前資格審査された薬剤のリスト中の AIDS 治療に使用される 2 種類の抗レトロウイルス剤を復活させることを発表した。2 種類の薬は発展途上国で使用されているが、WHO は 2004 年 5 月にこの 2 薬剤を国際基準から除外していた。しかし最近、ブランド相当品と同じ効果と安全性を持つジェネリック薬として認証した。

流行ニュースの続報：< インフルエンザ >

インフルエンザ A(H1) 型および AH3) 型と B 型が世界各国で散発的に発生している。・カナダ¹：インフルエンザが 47 週目に病院、学校、老人ホーム（退職者用ホーム）および長期入院病棟などで突発的に流行したことが報告された。流行は概して低度のままであった。・アメリカ¹：第 48 週目にインフルエンザ流行は低いままである。・その他の報告：47-48 週目に低度の流行が、アルゼンチン¹、ベルギー、チリ¹、香港¹、イタリア、日本¹、マダガスカル³、ノルウェー³、ロシア連邦¹、スロベニア、スウェーデン¹、ウクライナ¹、英国² から報告された。参照：¹No.48,2004,p.432、²No.45,2004,p.408、³No.41,2004,p.376（瀬戸口大介、白川卓、川又敏男）